



平成29年4月5日

各 位

上場会社名 株式会社ジンズ
(コード番号:3046 東証第一部)
代 表 者 代表取締役社長 田 中 仁
問 合 せ 先 管理本部長 山脇 幹也
電 話 番 号 TEL (03) 5275-7001 (代表)
U R L <https://corp.jins.com/jp>

平成29年8月期 第2四半期(累計)及び通期業績予想の修正並びに特別損失の計上のお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年8月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想の修正を行うとともに、平成29年8月期第2四半期において、特別損失を計上することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想の修正について

(1)修正の内容

平成29年8月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年9月1日～平成29年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,800	1,600	1,500	600	25.02
今回修正予想(B)	23,820	2,019	1,892	894	37.30
増減額(B-A)	20	419	392	294	—
増減率(%)	0.1%	26.2%	26.2%	49.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成28年8月期第2四半期)	21,527	1,188	1,132	457	19.07

平成29年8月期 通期連結業績予想数値の修正(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,000	4,800	4,500	2,600	108.44
今回修正予想(B)	51,000	5,220	4,890	2,890	120.53
増減額(B-A)	0	420	390	290	—
増減率(%)	0.0%	8.8%	8.7%	11.2%	—
(ご参考)前期実績 (平成28年8月期)	46,189	3,683	3,604	1,980	82.61

(2)修正の理由

当第2四半期累計期間の連結売上高につきまして、国内アイウェア事業では、外部のプロダクトデザイナー監修のもと、大幅にリニューアルした定番商品が好調に推移し、既存店売上高対前年比は+4.2%と予想を上回りました。一方、海外アイウェア事業及び雑貨事業の売上高は、予想を下回る見込みではありますが、国内アイウェア事業の増収により連結売上高は、ほぼ予想通りに推移する見込みであります。

営業利益につきましては、円高による粗利益率の改善のほか、既存店売上高の増収により営業利益率が改善したことから、当初予想を419百万円上回る2,019百万円となる見込みであります。

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益が当初計画比改善したこともあり、前記の通り修正しております。

通期の連結業績予想につきましては、今回の第2四半期連結業績予想の修正を踏まえ、前記の通り修正しております。

2. 第2四半期（累計）個別業績予想及び通期個別業績予想の修正について

(1)修正の内容

平成29年8月期 第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成28年9月1日～平成29年2月28日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	19,700	1,700	800	33.37
今回修正予想（B）	20,002	2,169	△478	△19.95
増減額（B－A）	302	469	△1,278	－
増減率（%）	1.5%	27.6%	△159.8%	－
（ご参考）前期実績 （平成28年8月期第2四半期）	19,019	1,379	718	29.96

平成29年8月期 通期個別業績予想数値の修正（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	42,100	4,600	2,700	112.61
今回修正予想（B）	42,400	5,070	1,420	59.22
増減額（B－A）	300	470	△1,280	－
増減率（%）	0.7%	10.2%	△47.4%	－
（ご参考）前期実績 （平成28年8月期）	40,872	3,981	2,418	100.89

(2)修正の理由

当第2四半期累計期間の個別売上高につきましては、連結業績予想の修正理由における国内アイウェア事業と同様であり、当初予想を302百万円上回る20,002百万円となる見込みであります。

経常利益につきましても、連結業績予想の修正理由と同様であり、当初予想を469百万円上回る2,169百万円となる見込みであります。

四半期純利益につきましては、「3.特別損失の計上について」に記載の通り、当社が保有する米国子会社の株式の実質価値の低下により、特別損失として関係会社株式評価損1,884百万円を計上することとしたため、当初予想を1,278百万円下回る△478百万円となる見込みであります。なお、関係会社株式評価損は、連結決算上相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 特別損失の計上について

米国事業については、当社の連結子会社であるJINS US Holdings, Inc.を通じて運営しております。平成26年4月にカリフォルニア州サンフランシスコ市に、旗艦店（路面店）として1号店をオープンいたしましたが、この旗艦店につき、売上高が当初計画を下回ったことから、今般、固定資産の減損損失211百万円を計上することといたしました。

このためJINS US Holdings, Inc.の株式の実質価値が低下したことから、関係会社株式評価損1,884百万円を特別損失として計上するものです。なお、米国事業は当社グループの海外戦略上重要な位置を占めており、今後も事業展開にあわせ投資を行っていく方針であります。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により予測と大きく異なる可能性があります。

以 上